

広報

かわごえ環境ネット

2022年7・8月号 No.186



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

伊佐沼は、周囲約2,500mの自然沼で、かんがい用ため池として利用されています。4月にはサクラ、7・8月はハスの花が美しく咲き誇ります。水面には水鳥がゆったりとたたずんで一幅の絵のようです。水面を渡る風も心地よく、夏場のいやしの場所です。(2020.7.19 賀登環撮影)

【報告】春の里山 自然観察 & クリーン活動：2

【報告】川越市内の川の一斉水質調査 / 2022 年度総会：3

【コラム】「意識改革が求められています」「川越版レッドデータブックを考える」：4

【参加者募集】夏の郊外クリーン活動 / 「アースデイ川越 in 昭和の街2022」出展者募集：5

かわごえ環境ネットからのお知らせ：6

会員からのお知らせ：7

イベントカレンダー (2022年7月1日～8月31日) / ボタニカルアート「ヨウシュヤマゴボウ」：8

残したい川越の風景 (4) 伊佐沼のハス



【報告】春の里山 自然観察&クリーン活動 (5月1日)

2019年から始まった「春の里山自然観察&クリーン活動」、4回目の今年は5月1日(日)に(仮称)川越市森林公園計画地で実施、新型コロナウイルス感染防止(マスク着用、体温測定、手の消毒)を図りながらの活動でした。

参加者は9時30分に集合、参加者は市民の方々34名、スタッフ10名、合計44名でした。参加者の年齢は8歳~80歳代と幅広い年齢構成で、高齢者の元気が特筆されます。

活動に先立ち、下見を4月26日に行ったところ、ゴミがほとんどありませんでした。よって参加者には自然観察を行っ

ていただき、スタッフがたまに落ちているゴミを拾うことで活動を実施しました。ゴミが少なくなった理由は、かわごえ環境ネット自然環境部会や「木びちこの会」等の保全活動と市民の協力により、森がよりきれいに保たれている成果と考えられます。

参加者は、かわごえ環境ネットが2021年に上梓した、新訂版「川越の自然」を使用しての観察、A組は賀登さん、B組は横山さんの案内と説明、新緑の森の中を、キンラン、ギンランを見ながら植物観察をしました。説明は初心者でも興味が湧くわかりやすい内容でした

ので好評でした。

11時30分、集めたゴミを川越南文化会館(ジョイフル)で分別し、集合写真を撮り11時45分に解散、12時ごろから雨がポツリポツリと降り始め、ラッキーな活動でした。(菊地三生)



小瀬理事長の挨拶



ナラ枯れの説明



切り株からキノコ



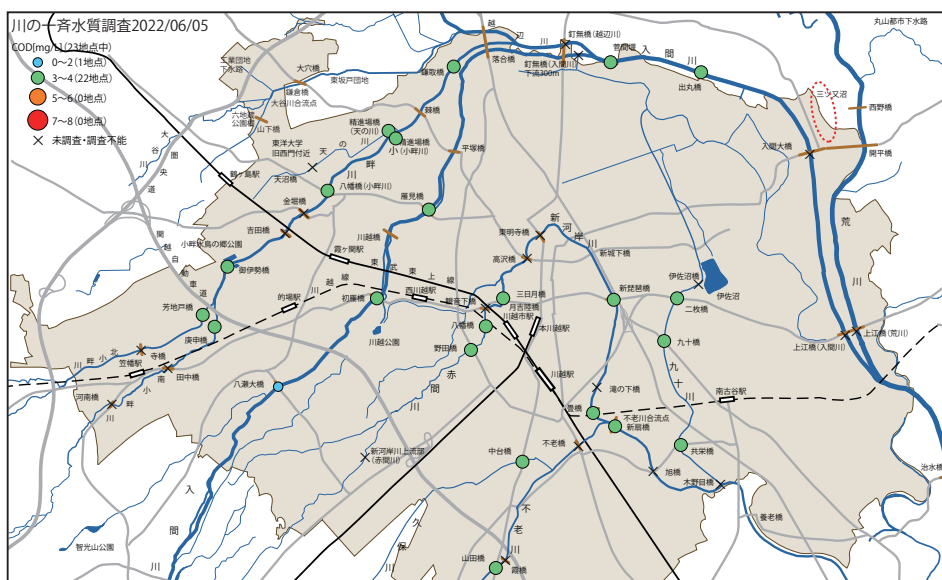
2022年5月1日



2021年5月9日

上の写真は今回の参加者の集合写真。今年のゴミはほんのわずかでした。下の写真は昨年の集合写真。

【報告】川越市内の川の一斉水質調査 (6月5日)



CODの水質調査結果 (2022年6月5日午前採水・測定)

6月第1日曜日の全国一斉調査

毎年6月第1日曜日が全国統一実施日の「身近な水環境の一斉調査」に参加する形で、本会では2005年度から「川越市内の川の一斉水質調査」を行っています。18年目の今年は、6月5日(日)午前9時に9名が分担して23地点の採水(1地点は水がないために調査せず)と水質調査(加えて1名が水質調査のみ参加)を行いました。

調査日は梅雨入りと見られる6月6日の前日であり、前日と当日午前は晴れでしたが、前々日の6月3日にまとまっ

た雨が 있었습니다。採水後には、例年通り北公民館で水質調査を行いました。

調査結果

今年の水質調査は、COD(化学的酸素要求量)の区分で0~2mg/Lが1地点(2021年は7地点)、3~4mg/Lが22地点(同19地点)となりました。5mg/L以上の地点はなく、前々日の雨の影響もあるのか、水質のよくない地点がないという状況になりました。

最近の傾向としては、若年層の釣り人の増加が見られます。コロナ禍を経て、人の少ない郊外での行動が定着し



小畔川・入間川沿いではキジをよく見かける



北公民館での水質調査の様子

たのかもしれませんが、また、入間川でキャンプをする人とごみが多く見られたという感想もありました。川は野生生物の生息空間(ビオトープ)です。棲みやすい空間を保つためには利用者の配慮が必要です。川を定期的に調査することは、水質のみならず地域の環境を知る手がかりにもなります。

2023年6月4日に予定されている調査にはぜひご参加ください。(小瀬博之)

【報告】2022年度総会(5月28日)と主な事業

本会の最高議決機関である総会

5月28日(土)10:00-11:35に川越市立博物館視聴覚ホールにおいて、2022年度かわごえ環境ネット総会を開催しました。出席者は19名、委任者が99名で計118名の出席があり、会員数191名の半数以上の出席により総会は成立しました。

総会の概要

総会では「2021年度事業報告」「2021年度決算報告及び会計監査報告」「役員改選」「2022年度事業計画」「2022年度予算」の5つの議案があり、いずれも原案の通り承認されました。

今年度は役員改選があり、新任3名を含め13名の理事と2名の監事が承認され、理事の互選により、理事長は小瀬博之、副理事長は横山三枝子、増田知久の2名が再任されました。

2022年度の主な事業

★11月19日(土)に「2022森フェス in 川越」を(仮称)川越市森林公園計画地(森のさんぽ道周辺)において開催

★2023年2月下旬に「第21回かわごえ環境フォーラム」をウエスタ川越(予定)で開催「環境活動報告会」「講演会」「シンポジウム」などを実施予定

★今後のクリーン活動は、7月18日(月・祝)に「夏の郊外クリーン活動」(川越市民聖苑やすらぎのさと周辺)、10月9日(日)に「秋のクリーン活動」(10月15・16日の川越まつりでの活動は中止)、12月18日(日)「歳末まち美化活動」を実施

◆**広報委員会**：「広報かわごえ環境ネット」(本紙)の年6回発行、「会員向けメールサービス」の利用者拡大、Webサイト運営、SNSの活用、会場実施の講演

会等のオンライン同時配信など

◆**社会環境部会**：定例部会の活性化、環境講演会(秋開催)、脱炭素社会冊子作成、SDGs普及・啓発のためのワークショップ、社会環境に関するアンケート調査、他の環境関連団体への見学・インタビュー、イベント出展など

◆**自然環境部会**：川越市「かわごえ生き物調査」への協力、調査・保全再生活動((仮称)川越市森林公園計画地、池辺公園、寺尾調節池周辺など)、自然観察会：「社寺林の観察会」「キノコの観察会」「虫の観察会」「川越水上公園生き物観察会」「キタミソウ観察会」、イベント(会員団体との共催)：「小畔川魚とり遊び」の実施など

詳細はWebで「2022年度総会議案書」(<https://kawagoekankyo.net/news/003298.html>)をご覧ください。

【社会環境部会コラム】社会と環境について思うこと (20) 意識改革が求められています

孫の誕生を通して考えてみました

「気候変動や資源の枯渇を懸念し子どもを望まない若者、欧米でじわり増加」子どもを出産することで二酸化炭素の排出量を増加させ、気候変動を悪化させてしまうことや、食料や水といった資源を乱用することを懸念してのこと。また、今よりも過酷な環境になり、子どもに苦労させてしまうことを憂慮する声も多かったとありました。後者の考えは、私の周りからも聞こえて来ました。だからこそ子どもを産んで、環境問題の根本解決に動こう!という考えの人がいます。この考え方に、私は子どもたちの未来、未来の子どもたちに「美しい地球を! 平和な世界を!!」と思って動き続けています。

近くはないので早くから里帰りになった娘。コロナ禍なので、ずっと別部屋での生活。多少光熱費・ガソリンの使用量は上がりました。

出産後は、混合栄養でミルクびんの煮沸に沐浴。おしめの枚数は新生児なので少ないけれど、洗濯は大人のものとは別洗い。近くで買えないものは宅配便で

取り寄せる。光熱水費に輸送エネルギー、ごみの量も増えました。

娘のため、みんなのため欧米の若者の考えを娘に伝え、二人で話し合い。母乳が出るようやってみる。帰ったら自分たちのものといっしょに洗濯すると口にしました。母乳の量が増えて粉ミルクは1日1回になったよ。完全母乳はたいへんだと思っただけで母乳が出るようになったら、楽だね~とうれしそう。

自然に学ぶ・動物に学びましょう

人間は自然界の一員です。“ヒト”は動物の一種です。悩んだら自然や動物に学ぶといい。惑いは“自然”か“不自然”か考えてみればわかる。“自然”より自然(じねん)・天然か考えてみるといい、と聞きました。

うれしい変化が続いています

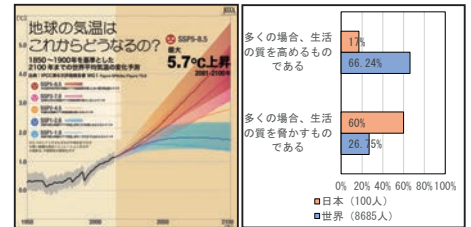
子育て中のママが子どもたちと遊びに来ます。畑で虫採りしたり、野菜の収穫体験をして楽しんでいます。彼女はプランターで3種類の夏野菜作りを始めました。

ある子育てサロンのおしゃべりのとき、“自然流”小児科医 真弓定夫先生から学ん

だことを伝えています。

寺尾調節池などのごみ拾い、医療生協川越東支部の方々も始めてくれています。

木々が成長し青々と茂り、暑さを吹き飛ばしてくれそうです(びわ、桑、いちじく、めぐすり、ぶどう、緑のカーテンはパッションフルーツ、キウイなど、かんきつ類、りんご、なし)。(松岡壽賀子)



(左) 世界平均気温の変化予測(観測と予測) 出典) IPCC 第6次評価報告書/全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>)

(右) あなたにとって気候変動対策はどのようなものですか? 出典) World Wide Views on Climate and Energy (<http://climateandenergy.worldviews.org/results/>) 2015.6



我が家の庭の草木たち

【自然環境部会コラム】自然を訪ねて (4) 川越版レッドデータブックを考える

川越の希少種

2月のかわごえ環境フォーラムで報告した「市民による川越生き物調査」によると、5年間に報告された植物は834種で、そのうち国や県のレッドリストに掲載されているのは50種ほどでした。この50種について安泰なものも少なく、中には数株しか確認されていないものがあります。そして、レッドリストに掲載されてはいますが、川越においてはすでに希少になっているものもけっこうあります。いくつかご紹介しましょう。

イチヤクソウ

写真1のイチヤクソウは報告があったのは4メッシュコードだけで、いずれも割合規模の大きい福原地区の雑木林です。菌類と共生する半寄生植物なので、移植は難しいです。5月終わりごろスズランのような花を付けます。

オドリコソウ

写真2のオドリコソウは2か所のみの報告です。川越水上公園と「(仮称)川越市森林公園」計画地だけです。地方へ行くと普通に見かけますが、一度

生息地がなくなると自力で拡散できないようです。外来種のヒメオドリコソウは空き地を埋め尽くしています。

ヤマエンゴサク

写真3はヤマエンゴサクです。今のところ、生息地は川越水上公園の保護柵の中だけです。元々は山地性の植物で薄水色の清楚な感じです。似たものでジロボウエンゴサクがありますが、こちらはピンク系で数か所の雑木林で確認されていますが、いずれも個体数は少ないです。

草原の喪失

また、近年は全国的に草原が失われてきていて川越もしかりです。以前は草原や土手筋に普通に見られたワレモコウ(写真4は尾瀬で撮影)はほとんど見なくなりました。土手の草刈りが年2~3回行われ、そのたびに消失しているようで、調査をするとわずかに伸びた茎や葉を見ますが、開花には至らず刈りられてしまうようです。ウマノスズクサというジャコウアゲハの食草も同じような運命をたどっています。

自然環境部会では、このように目に見えて少なくなってきたものについて検討していく予定です。

(賀登環)



写真1 イチヤクソウ

写真2 オドリコソウ



写真3 ヤマエンゴサク

写真4 ワレモコウ

【参加者募集】「夏の郊外クリーン活動」7月18日（月曜日・海の日）実施

夏の郊外 クリーン活動のお知らせ

かわごえ環境ネットでは年に4回のクリーン活動をしております。
多くの方の参加をお待ちしております。

日時 2022年 7月18日（月）

行程 9時30分 「やすらぎのさと」入口に集合
（川越市大字小仙波867-1）
トングとごみ袋を配布後、グループ毎に活動を開始
11時30分「やすらぎのさと」で分別し解散

この活動は感染症対策対応で実施いたします。
① 参加者の体温測定の実施
② アルコール等を使用した消毒の実施
③ マスク着用
④ ソーシャルディスタンスの励行

参加申込 7月1日（金）午前10時～ 電話で環境政策課に ☎ 049-224-5866

当日の連絡先 菊地 ☎ 080-5546-2362
メール kikums@beige.ocn.ne.jp



1冊 700円
頒布中
当日お買い求め
が出来ます。



かわごえ環境ネット
事務局 川越市環境部環境政策課
☎ 049-224-5866（直通）



かわごえ環境ネットでは、春夏秋冬に年4回のクリーン活動をしております。夏は7月18日（月）に活動を行います。多くの方の参加をお待ちしています。

実施概要

日時：7月18日（月・海の日）9:30-11:30

場所：川越市民聖苑やすらぎのさと（川越市小仙波867-1）

参加申込

7月1日（金）10:00 から電話で環境政策課（Tel.049-224-5866）に連絡

当日の連絡先

かわごえ環境ネット 菊地
携帯電話番号 080-5546-2362
E-mail: kikums@beige.ocn.ne.jp

今後の予定（10月の日程変更）

「秋のクリーン活動」は川越まつり1週間前の10月9日（土）9:30-11:30に実施します。お祭り会場のクリーン化を目的とした活動です。また、「冬の川越中心市街地 歳末まち美化活動」は12月18日（日）を予定しています。

新訂版『川越の自然』を当日有料頒布

夏のクリーン活動の当日、2021年2月に発行した『新訂版 川越の自然—雑木林・河川・公園・湧水・社寺林を訪ねて—』（A5判、180ページ、フルカラー）を700円で頒布します。ぜひお買い求めください。



【後援】「アースデイ川越 in 昭和の街 2022」出展者募集（10月2日蓮馨寺で開催）



アースデイ川越 in 昭和の街は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2022 アースデイ川越 in 昭和の街 出展者募集

募集期間：7月19日（火）まで
開催日時：10月2日（日）10:00-15:00
会場：蓮馨寺（川越市連雀町7-1）及び
オンライン（リイブリット形式）

川越市内において SDGs（持続可能な開発目標）に関する事業・活動を行っている企業・団体等の出展を募集しています。主な対象は小学生など子どもとその保護者等です。

詳しくは「アースデイ川越 in 昭和の街」ホームページにて
<http://showanomachi.net/earthday>



アースデイは、みんなの未来のために、かけがえのない地球環境を守り、すべての人々と平和で安全な世界を作ること目的とした運動です。川越では1999年から開催され、「アースデイ川越 in 昭和の街 2022」として24回目を迎える市民参加型イベントです。

現在は、国連の「SDGs（持続可能な開発目標）」をメインテーマに、子どもから大人まですべての人が持続可能な社会について考えるための提案を続けています。

かわごえ環境ネットはこのイベントを後援しています。7月19日（火）まで SDGs に関する活動を行っている企業・団体等の出展者を募集しています。開催日は10月2日（日）10:00-15:00、会場は蓮馨寺とオンラインの併用です。詳しくはアースデイ川越ホームページ（<http://showanomachi.net/earthday/>）をご覧ください。

理事会・事業運営委員会

報告

5月18日(水) 2022年度第2回

①総会会則・出席予定者確認、②川越市上下水道事業経営審議会委員の推薦、③本紙の部数増加(400部→500部)承認、④会計監査からの指摘事項の報告、⑤事務局メールアドレスの変更(saitama→lg)

6月15日(水) 2022年度第3回

①新理事自己紹介、②理事の担当業務、③「アースデイ川越 in 昭和の街 2022」の後援承認、④川の一斉水質調査報告、⑤今後の組織体制について検討(小瀬博之)

予告

◆**事業運営委員会** 日時:7月13日(水) 9:00-10:00 場所:福田ビル(川越市郭町1-2-3)3階会議室、8月17日(水) 10:00-12:00 場所:川越市役所(川越市元町1-3-1)地階修養室

◆**理事会** 日時:7月13日(水) 10:00-11:30 場所:福田ビル3階会議室(8月は休会)

社会環境部会

報告

5月13日(金)参加者7名・6月10日(金)参加者8名により13:00-15:00に福田ビル3階で社会環境部会の例会を開催。

協議事項

- ・2022年度の活動計画について協議。例年通り12月に環境講演会の実施、秋ごろにアースデイ川越への出展を予定。新規活動案としてSDGsに関連したワークショップの企画、脱炭素社会に関する啓発冊子の作成等の案について検討。
- ・かわごえ環境ネットの今後の活動展開に向け、社会環境部会と自然環境部会の連携や合同例会、例会の実施時間など、会員が参加しやすい例会にしていくための意見交換を行った。
- ・5月28日に実施したかわごえ環境ネットの総会の報告と参加者の感想
- ・コラム「社会と環境について思うこと」を通じて、身近な環境問題や自然保護に関する意識の啓発
- ・環境講演会のテーマと実施日についての検討
- ・川の一斉水質調査の実施報告
- ・「2022 森フェス in 川越」についての情報共有と社会環境部会のブース設置に関する意見交換
- ・その他、例会の参加者が抱える社会環境の課題(地球温暖化、河川、雑木林、

エネルギー、ごみ、街路樹、環境に関わる市政)などについての意見交換(社会環境部会代表 増田知久)

予告

●**社会環境部会**(第2金曜日) 日時:7月8日(金) 13:30-15:00 場所:福田ビル3階会議室 *会員は予約なしで参加可、8月休会

自然環境部会

報告

5月例会は13日(金)9名参加、6月例会は6月10日(金)福田ビル3階にて開催

1. 活動報告

- ①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動4月11日(月)17名参加 植物調査、4月25日(月)19名参加 キンラン・ギンランの調査4月29日(金)も追加調査、5月9日(月)18名参加 イチャクソウ・クチナシグサ・ノヤマトンボ株数調査、5月23日(月)21名参加 希少種調査
- ②池辺公園定例活動4月12日(火)11名参加 春の生き物調査101種、5月10日(火)9名参加 ごみ拾い、低木の剪定、生き物調査、市の草刈り計画立ち合い
- ③寺尾調節池生き物調査4月20日(水)8名参加 植物36科77種、鳥類18種、その他6種、オニナルコスゲ(絶滅危惧IB類(EN))、コウホネ(準絶滅危惧(NT))、タコノアシ(絶滅危惧II類(VU))確認
- ④川越水上公園生き物調査5月17日(火)8名参加 植物58科127種(うち県のレッドデータ掲載種が2種、公園植栽種を除く外来種26種[20.5%])、鳥類12種、昆虫4種、その他は3種

2. 協議事項

- ①調査で明らかになった希少種について保全策を行政の管理担当者に要望していくことについて話し合った。
- ②川越レベルでのレッドデータブックについての学習会を6月23日(木)に行うことにした。(自然環境部会代表 賀登環)

予告

★「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動(毎月第2・第4月曜日) 日時:7月11・25日、9月12・26日(月) 9:30-12:30(8月は休止) 集合:川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2) 問い合わせ:賀登(Tel.049-234-9366)

★池辺公園定例活動(毎月第2火曜日) 日時:7月12日・8月9日・9月13日(火) 9:00-12:00 場所:池辺公園(川越市池辺1302) 問い合わせ:賀登(Tel.049-234-9366)

★キノコの観察会 7月10日(日) 9:30-12:00「(仮称)川越市森林公園」計画地 費用:200円

★虫の観察会 7月30日(土) 9:30-12:00「(仮称)川越市森林公園」計画地 費用:200円 上記2件の観察会の問い合わせ:賀登(049-234-9366) 申込:環境政策課(049-224-5866) 広報川越7月号参照

●**自然環境部会**(第2金曜日) 日時:7月8日(金) 15:00-17:00 場所:福田ビル3階会議室 *会員は予約なしで参加可、8月休会

広報委員会

募集

報告・予告・おしらせの原稿

2022年9・10月号(No.187,9月1日発行)の原稿は8月8日(月)提出締切。原稿テキスト、図表)と写真等の画像(高解像度)は電子データで編集担当共有のメールリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)に送付。メールリストは事前登録が必要。未登録の方は広報委員会メール(koho@kawagoekankyo.net)に問い合わせを。メール未使用の方はかわごえ環境ネット事務局(環境政策課 川越市役所5階)に提出。

予告

◆**広報委員会** 日時:7月7日(木)・8月10日(水) 9:00-9:30 場所:オンラインミーティング(アクセス方法は委員に別途案内) (広報委員長 小瀬博之)

「2022 森フェス in 川越」 実行委員会

第3回実行委員会を南公民館で5月25日に開催。参加者6名。協力団体やプログラムの内容について協議しました。イベントは11月19日(土)開催。森のスタンプラリー、ネイチャーゲームと木工ワークショップ、絵本の読み聞かせ会と秋野菜の収穫体験、森のマルシェ、森のコンサートなどのアクティビティを予定しています(本紙次号で詳細を掲載)。多くの人に参加いただき、川越に残る自然の魅力を感じていただけるよう今後も協議を重ねていきます。本事業は川越でも有数の自然豊かな場所である「(仮称)川越市森林公園計画地」及び川越南文化会館を活用して、自然や農業の魅力を感じてもらおうイベントを予定しています。なお、この事業は川越市市制施行100周年事業 提案型補助事業に採択されています。(増田知久)

NPO 法人かわごえ里山 イニシアチブ

増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

近況報告

環境にやさしい生物多様性農法による米づくりが本格的に始まりました。5月8日(日)に種まきをした苗は順調に育ち、6月4日(土)に無事田植えを終えることができました。田んぼでは生きもののにぎわいを取り戻しています。



田んぼの生きもの調査収集員募集

7月2日(土)に田んぼの生きもの調査を行います。イベントではありませんが、田んぼの生きもの調査に協力していただける収集員を募集します。参加費や年齢制限はありません。協力いただける方は、お名前(ふりがな)、電話 または メールアドレス記載の上 hatsukarinosato@googlegroups.com にご連絡ください。

Facebook <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

HP <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

川越フォレストクラブ

賀登環 (Tel.049-234-9366)

報告

5月11日(水)は林が隣の畑に進出し、樹林になった部分を畑に戻す作業。畑も耕し続けられないといずれ樹林に自然遷移していきます。



左側が畑に戻したところ(5月11日)

予告

◎「(仮称)川越市森林公園」計画地雑木林の手入れ 7月13日(水)8:30-12:00
集合:川越南文化会館(ジョイフル)「(仮称)川越市森林公園」計画地で、動力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した手入れを実施。奇数月の第2水曜日が活動日。

小畔川の自然を考える会

賀登環 (Tel.049-234-9366)

報告

5月15日(日)八幡橋下流で魚類調査オイカワ、アブラハヤ、ヤゴ、テナガエビなど確認。今回は川幅、深さ、流速なども測定。下の写真では時速1.72km。



オイカワとテナガエビ 流速を測る

予告

◎魚類調査 7月24日(日)9:30-12:00
かほく運動公園下の親水ゾーンでの実施。問い合わせ:賀登

公益財団法人埼玉県生態系保護 協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯
電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

予告

◎伊佐沼でバードウォッチング(毎月第2日曜日、雨天中止)

集合:10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや、持ち物:筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物、参加費:一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

①7月10日(日)10:00-12:00 古代蓮が咲き始め、カイツブリやカルガモのヒナは元気に育っています。暑さに負けずに観察します。②8月14日(日)10:00-12:00 野鳥の種類は少ない時期ですが、チュウサギやアマサギなど他の月に少ないサギを観察します。

個人会員からのお知らせ

松岡壽賀子さん(社会環境部会)

高階南公民館 (Tel.049-245-3581)

予告

◎かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」会場:高階南公民館1階会議室1号(川越市藤原町23-7)、持ち物:直近2~3か月分の電気料金票、参加費:無料

①7月13日(木)10:00-12:00・②8月4日(木)10:00-12:00「水・雨水の活用の仕方」水の使用量が増える季節、中高でも行う理科の実験を通して雨水の活用も考えましょう。節水にもつながります。参加されたみなさんと身体や環境に負

荷の少ない取組や暮らし方など、井戸端会議のようにお話しています。知って、その後を豊かに楽しみましょう。1人でも多く動いたら減災・防災につながります。

川越次世代SDGs研究会

問い合わせ:中口毅博(nakaguti@sic.shibaura-it.ac.jp)

予告

◎夜の公園たんけんー川越の生き物発見 7月30日(土)15:00-20:00,雨天の場合は7月31日(日)15:00-20:00

場所:南公民館(川越市新宿町1-17-17 ウェスタ川越内)講座室、仙波河岸史跡公園(川越市仙波町4-21-2)

内容:15:00-16:30 動物の塗り絵(対象:未就学児)ユニクス川越円形広場にて、15:00-16:30 川越の自然・SDGsに関するクイズ(対象:すべて)ユニクス川越円形広場にて、17:00-18:00 南公民館講座室にてコウモリの生態に関するお話、18:30-19:30 日没後の公園観察 仙波河岸史跡公園でコウモリの飛ぶ様子やセミの羽化を観察

対象・定員:16:30までは申込不要、定員なしでどなたでも参加可、17:00以降は要申込、小学生とその保護者、中高大学生20組

申込方法:川越市ホームページ(QRコード)より電子申請で7月13日(水)までに申込(応募者多数の場合は抽選)



イベントページ(<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/kurashi/bunkakyoyo/kominkan/chuo/teiankyodo.html>)

・小学生がお申込みいただく場合は、必ず保護者と一緒にご参加ください。

・小学生のご参加の場合は、保護者1人に対し小学生2人までご参加いただけます。

コーディネーター:中口毅博(芝浦工業大学教授,川越市在住),講師:大沢夕志・大沢啓子(フリーカメラマン・ライター,川越市在住),主催:川越次世代SDGs研究会,川越市中央公民館・環境政策課

6-8 ページの記号凡例

★:本会主催・後援等一般公開行事 ●:本会会員対象行事 ◆:本会理事・委員対象会合 ◎:本会会員等主催のイベント等 ○:その他(個別記事参照)

2022年7月

1	金
2	土 ◎ 田んぼの生きもの調査(かわごえ里山イニシアチブ)
3	日
4	月
5	火
6	水
7	木 ◆ 9:00 広報委員会
8	金 ● 13:30 社会環境部会 ● 15:00 自然環境部会
9	土
10	日 ★ 9:30 キノコの観察会 ◎ 10:00 伊佐沼でバードウォッチング
11	月 ★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
12	火 ★ 9:00 池辺公園保全活動
13	水 ◎ 8:30 「(仮称) 川越市森林公園」計画地雑木林の手入れ ◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会 ◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」 ○ 「夜の公園たんけんー川越の生き物発見」申込期限
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月 海の日 ★ 9:30 夏の郊外クリーン活動
19	火 ○ 「アースデイ川越 in 昭和の街 2022」出展応募期限
20	水 ◆ 9:30 「2022 森フェス in 川越」実行委員会
21	木
22	金
23	土
24	日 ◎ 9:30 魚類調査(小畔川の自然を考える会)
25	月 ★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
26	火
27	水
28	木
29	金
30	土 ★ 9:30 虫の観察会 ◎ 15:00 夜の公園たんけんー川越の生き物発見
31	日 ◎ 15:00 【予備日】夜の公園たんけんー川越の生き物発見

2022年8月

1	月
2	火
3	水
4	木 ◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
5	金
6	土
7	日
8	月 ○ 本紙9・10月号原稿投稿期限
9	火 ★ 9:00 池辺公園保全活動
10	水 ◆ 9:00 広報委員会
11	木
12	金
13	土
14	日 ◎ 10:00 伊佐沼でバードウォッチング
15	月
16	火
17	水 ◆ 10:00 事業運営委員会
18	木
19	金
20	土
21	日
22	月
23	火
24	水
25	木
26	金
27	土
28	日
29	月
30	火
31	水

かわごえ環境ネットインターネットアクセス (QRコード)



ホームページ



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube



note



入会案内

←かわごえ環境ネット会員募集 年会費 個人 1,000 円・団体 2,000 円で本紙を郵送またはメールで送付。イベントへの優先参加、本紙への記事掲載など特典あり。

ボタニカルアート (1) ヨウシュヤマゴボウ

新訂版『川越の自然』の扉にアズマイチゲを描かれた本会会員の岡治さんによる「ヨウシュヤマゴボウ」のボタニカルアート(植物細密画)を紹介し、北アメリカ原産の帰化植物で有毒植物でもあるこの植物の力強さが表現されています。写真と異なり各部や成長段階ごとの特徴を1枚の絵で表すことができます。今後も不定期で掲載します。



おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。